

Working Folder

複合機連携 セットアップガイド

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
本書は機械に Working Folder 複合機連携機能を設定する方法を記載しています。
設定する前に、必ず本書をお読みください。

なお、本書の内容は、お使いの機械の基本的な知識や操作方法を習得されていることを前提に説明しています。お使いの機械の基本的な知識や操作方法については、機械に同梱されている『管理者ガイド』や『ユーザーズガイド』などのマニュアルをご覧ください。

Working Folder の設定と操作については、『Working Folder ユーザーガイド』、『Working Folder 管理者ガイド』、および『Working Folder 管理者ガイド ジョブフロー連携編』をご覧ください。

• Step1: 機械の確認 (グループ A ~ E)	6
• Step2: ソフトウェアオプションのパスワード設定 (グループ B ~ D)	8
• Step3: 仕様設定 (グループ A ~ E)	10
• SOAP ポート	10
• プロトコル設定	10
• プロキシサーバー設定	11
• Web ブラウザー設定	11
• プラグイン設定 (グループ C とグループ D でシングルサインオン機能を使用する場合)	12
• Step4: Working Folder 複合機連携設置ツールのインストール (グループ A ~ C)	13
• インストール前の作業	13
• インストール	15
• インストール後の作業	18
• Step5: 結果の確認 (グループ A ~ E)	19
• Step6: シングルサインオン機能の設定 (グループ C ~ E)	21
• 認証情報の記憶	21
• 管理メニューの設定手順	22
• アンインストール／バージョンアップ (グループ A ~ C)	25

Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
その他の製品名、会社名は、各社の登録商標または商標です。
Microsoft Corporation の許可を得て画面写真を使用しています。

ご注意

- ① 本書の内容の一部または全部を無断で複製・転載・改編することはおやめください。
- ② 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- ③ 本書に、ご不明な点、誤り、記載もれ、乱丁、落丁などがありましたら弊社までご連絡ください。

Xerox、Xerox ロゴ、Fuji Xerox ロゴ、および CentreWare は、米国ゼロックス社の登録商標または商標です。

マニュアル体系

Working Folder の設定と操作を説明しているマニュアルは、次のとおりです。

■Working Folder 管理者ガイド

Working Folder に管理者権限でログインした場合だけ、できる操作を説明するマニュアルです。

■Working Folder 管理者ガイド ジョブフロー連携編

Working Folder とジョブフローの連携の設定を説明するマニュアルです。

ジョブフローは、弊社の複合機で実行する処理の流れを記載した情報です。

Working Folder とジョブフローを連携すると、複合機でファクスなどを受信した場合に、自動的に Working Folder に登録できます。

■Working Folder 複合機連携 セットアップガイド（本書）

複合機と Working Folder を連携できるようにするツールの、インストール手順を説明するマニュアルです。

■Working Folder ユーザーガイド

Working Folder に管理者権限またはユーザー権限でログインした場合に、できる操作を説明するマニュアルです。

上記のマニュアルは、Working Folder で [ヘルプ] をクリックすると表示されるウィンドウから表示できます。

■Working Folder モバイル版操作ガイド

Working Folder のモバイル版の表示でできる操作を説明するマニュアルです。

このマニュアルは、モバイル版の [その他] 画面で、[ヘルプ] をクリックすると表示されます。

本書の使い方

機械のグループによって実施する操作が異なります。

お使いの機械がどのグループに該当するか「Working Folder 複合機連携機能対応機種一覧」で確認してから下表を確認して、手順に進んでください。

「Working Folder 複合機連携機能対応機種一覧」は、本書と同じ場所にあります。

手順	グループ				
	A	B	C	D	E
Step1: 機械の確認（グループ A ～ E）	✓	✓	✓	✓	✓
Step2: ソフトウェアオプションのパスワード設定（グループ B ～ D）		✓	✓	✓	
Step3: 仕様設定（グループ A ～ E）	✓	✓	✓	✓	✓
Step4: Working Folder 複合機連携設置ツールのインストール（グループ A ～ C）	✓	✓	✓*		
Step5: 結果の確認（グループ A ～ E）	✓	✓	✓	✓	✓
Step6: シングルサインオン機能の設定（グループ C ～ E）			✓*	✓*	✓*

* この手順は、シングルサインオン機能を使用する場合だけ必要です。シングルサインオンは、一度の認証操作で機械と Working Folder の両方を利用できる機能です。

本書の構成

■Step1: 機械の確認（グループ A ～ E）

機械が Working Folder 複合機連携機能を使用できる条件を満たしているか、確認する手順を説明しています。

■Step2: ソフトウェアオプションのパスワード設定（グループ B ～ D）

複合機連携の機能を有効にする手順を説明しています。

■Step3: 仕様設定（グループ A ～ E）

複合機連携の機能を有効にするために、お使いの機械に必要な設定の手順を説明しています。

■Step4: Working Folder 複合機連携設置ツールのインストール（グループ A ～ C）

Working Folder 複合機連携設置ツールをインストールする前、インストール、およびインストール後の手順を説明しています。

■Step5: 結果の確認（グループ A ～ E）

機械の操作パネルに「Working Folder」が表示されることと、Working Folder へのログイン画面が表示されることを確認する手順を説明しています。

■Step6: シングルサインオン機能の設定（グループ C ～ E）

シングルサインオン機能を有効にする手順を説明しています。

■アンインストール／バージョンアップ（グループ A ～ C）

Working Folder 複合機連携設置ツールをアンインストール、またはバージョンアップする手順を説明しています。

本書の表記

注記 注意すべき事項を記載しています。必ずお読みください。

参照 参照先を記載しています。

補足 補足事項を記載しています。

[] コンピューターと機械の操作パネルの画面に表示されるウィンドウ、メニュー、ダイアログボックス、ボタンなどの項目を表します。
例：[OK] をクリックします。

< > キーボードのキー、および機械の操作パネルのボタンを表します。
例：<Delete> キーを押します。

> メニューや Web ページの階層を表します。
例：[スタート] > [プログラム] の順に選択します。

本書に記載している画面は、使用している機械の構成によって、表示されない項目や使用できない機能があります。

Step1: 機械の確認 (グループ A ～ E)

機械が Working Folder 複合機連携機能を使用できる条件を満たしているか、確認します。条件を満たしていない場合は、弊社の営業担当者またはカスタマーコンタクトセンターにお問い合わせください。

ハードディスクとメモリーの確認

- 1 機械の操作パネルで〈機械確認 (メーター確認)〉ボタンを押します。
- 2 [機械状態 レポート出力] タブの [機械構成] を押します。
- 3 [内蔵ハードディスク] の項目が表示されていることを確認します。
- 4 グループ A とグループ B の場合は、[システムメモリーサイズ] の値が次であることを確認します。
 - グループ A : 1536 MB 以上
 - グループ B : 2048 MB 以上
- 5 [閉じる] を押します。
- 6 [閉じる] を押します。

外部アクセスキットの確認 (グループ A のみ)

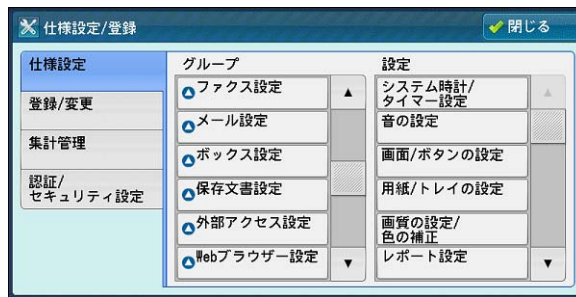
- 1 機械の操作パネルで〈認証〉ボタンを押します。
- 2 〈数字〉ボタン、または表示されるキーボードを使って、機械管理者の User ID を入力し、[確定] を押します。



- 3 メニュー画面で、[仕様設定 / 登録] を押します。



- 4** [仕様設定 / 登録] 画面で、[仕様設定] > [Web ブラウザー設定] が表示されていることを確認します。



- 5** [閉じる] を押します。

Step2: ソフトウェアオプションのパスワード設定（グループ B ～ D）

お使いの機械の [仕様設定 / 登録] 画面で、[仕様設定] > [Web ブラウザー設定] が表示される場合は、ソフトウェアオプションのパスワードがすでに設定されています。「Step3: 仕様設定（グループ A ～ E）」(P.10) の手順に進んでください。

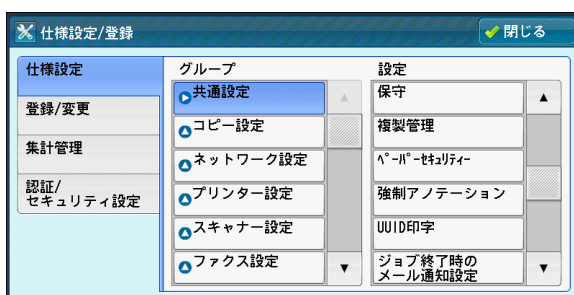
- 1 機械の操作パネルで〈認証〉ボタンを押します。
- 2 〈数字〉ボタン、または表示されるキーボードを使って、機械管理者の User ID を入力し、[確定] を押します。



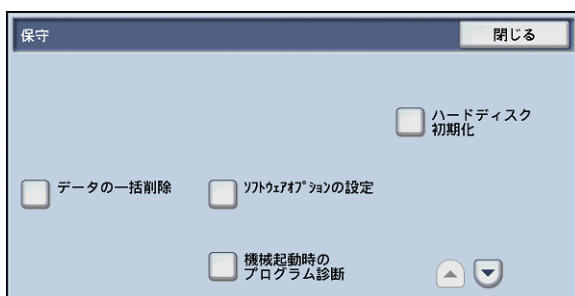
- 3 メニュー画面で、[仕様設定 / 登録] を押します。



- 4 [仕様設定] > [共通設定] > [保守] を選択します。



- 5 [ソフトウェアオプションの設定] を選択します。



- 6** キーボードを使用して、「Working Folder 複合機連携機能対応機種一覧」の「パスワード」列に記載されたパスワードを入力します。



- 7** 「再起動」を押します。

注記

- 再起動したあとに Working Folder のアイコンが表示されても、「Step3: 仕様設定(グループ A ～ E)」(P.10) を必ず実施してください。実施しないと、Working Folder が正常に動作しないことがあります。

Step3: 仕様設定（グループ A ～ E）

Working Folder 複合機連携機能を使用するために、「SOAP ポート」(P.10) ～ 「プラグイン設定（グループ C とグループ D でシングルサインオン機能を使用する場合）」(P.12) で説明する内容を設定します。

注記

- 「Working Folder 複合機連携機能対応機種一覧」の「[[相手のサーバーの証明書の検証] の初期状態] が [無効] の場合、次を実施してください。
- より安全な通信のために、[相手サーバーの証明書の検証] の [有効] チェックボックスをチェックし、Working Folder の CA 証明書をインポートしてください。CA 証明書のインポート方法については、複合機の「セキュリティ機能補足ガイド」を参照してください。CA 証明書の入手方法については、次の URL を参照してください。 <http://www.fujixerox.co.jp/support/service/workingfolder/answer/answer403.html#q56>
- Working Folder の他にも SSL/TLS 通信を行う機能やサービスをお使いの場合、各機能やサービスに必要な証明書も併せてインポートする必要があります。接続先を自分で設定する機能の場合は、接続先サーバーの管理者から、必要な証明書を入手してインポートしてください。富士ゼロックスまたはサードパーティのサーバーに接続するサービスの場合は、各サービスのマニュアルを参照してください。

参照

- 各設定項目の詳細については、お使いの機械に同梱されている『管理者ガイド』を参照してください。

SOAP ポート

- 1 「Step2: ソフトウェアオプションのパスワード設定(グループ B ～ D)」(P.8) の 1 ～ 3 を実行して、[仕様設定 / 登録] 画面を表示します。
- 2 [仕様設定] > [ネットワーク設定] > [ポート設定] で [SOAP] を選択し、[確認 / 変更] を押します。
- 3 次の項目を設定します。
 - [SOAP - ポート] : [起動]
 - [SOAP - ポート番号] : [80]
- 4 [仕様設定 / 登録] 画面が表示されるまで、[閉じる] を押します。
- 5 [閉じる] を押します。

プロトコル設定

- 1 [仕様設定 / 登録] 画面の [仕様設定] > [ネットワーク設定] > [プロトコル設定] で、IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスなど、TCP/IP 環境で機械を使用するための項目を設定します。

補足

- [仕様設定 / 登録] 画面を表示していない場合は、「Step2: ソフトウェアオプションのパスワード設定（グループ B ～ D）」(P.8) の 1 ～ 3 を実行してください。
- 2 [仕様設定] > [ネットワーク設定] > [プロトコル設定] で、[IPv4 - DNS 設定] または [IPv6 - DNS 設定] を選択し、[確認 / 変更] を押します。

- 3 次の項目を設定します。
 - [DHCP からのアドレス取得]：[しない]
 - [DNS サーバーアドレス]：お使いの DNS サーバーアドレス
- 4 [仕様設定 / 登録] 画面が表示されるまで、[閉じる] を押します。
- 5 [閉じる] を押します。

プロキシサーバー設定

プロキシ設定が必要なサービスを使う場合は、この項目を設定してください。

- 1 [仕様設定 / 登録] 画面の [仕様設定] > [ネットワーク設定] > [プロキシサーバー設定] で、サーバー名、ポート番号、ログイン名、パスワードなど、HTTPS 環境で機械を使用するための項目を設定します。

補足

- [仕様設定 / 登録] 画面を表示していない場合は、「Step2: ソフトウェアオプションのパスワード設定（グループ B ～ D）」(P.8) の 1 ～ 3 を実行してください。
- ユーザー認証が必要なプロキシサーバーを経由する環境では、機械から Working Folder サービスをご利用できない場合があります。

- 2 [仕様設定] > [ネットワーク設定] > [プロキシサーバー設定] で [プロキシを使用しないアドレス] を選択し、[確認 / 変更] を押します。
- 3 [localhost] と入力し、[決定] を押します。

補足

- 複合機連携機能を使用する場合、「localhost」を削除しないでください。

- 4 [閉じる] を押します。
- 5 [閉じる] を押します。

Web ブラウザー設定

- 1 [仕様設定 / 登録] 画面の [仕様設定] > [Web ブラウザー設定] で [外部アクセスバージョンの選択] を選択し、[確認 / 変更] を押します。

補足

- [仕様設定 / 登録] 画面を表示していない場合は、「Step2: ソフトウェアオプションのパスワード設定（グループ B ～ D）」(P.8) の 1 ～ 3 を実行してください。

- 2 グループ A とグループ B の場合は [V4(新バージョン)] を選択し、[決定] を押します。
グループ C とグループ D の場合は [V4] または [V5] を選択し、[決定] を押します。
- 3 [ファイルプリント機能の使用] を選択し、[確認 / 変更] を押します。
- 4 [する] を選択し、[決定] を押します。
- 5 [Cookie の使用] を選択し、[確認 / 変更] を押します。
- 6 [する] または、[保存を確認する] を選択し、[決定] を押します。

- 7 [TLS1.0 の使用] を選択し、[確認 / 変更] を押します。
- 8 [する] を選択し、[決定] を押します。
- 9 [閉じる] を押します。
- 10 [閉じる] を押します。
- 11 機械の電源を切って、再度電源を入れます。

プラグイン設定（グループ C とグループ D でシングルサインオン機能を使用する場合）

シングルサインオン機能とは、一度の認証操作で機械と Working Folder の両方を利用できる機能です。

弊社のクラウドサービス「Cloud On-Demand Print」と「スキャン翻訳サービス」を利用している場合、認証情報を相互に利用できます。

参照

- 「Cloud On-Demand Print とスキャン翻訳サービスとの認証情報の相互利用」(P.22)

シングルサインオン機能を利用する場合は、プラグイン設定を有効にする必要があります。

- 1 [仕様設定 / 登録] 画面の [仕様設定] > [共通設定] > [プラグイン設定] で [組み込みプラグイン機能] を選択して、[確認 / 変更] を押します。

補足

- [仕様設定 / 登録] 画面を表示していない場合は、「Step2: ソフトウェアオプションのパスワード設定（グループ B ～ D）」(P.8) の 1 ～ 3 を実行してください。
- [プラグイン設定] が表示されない場合は、ソフトウェアオプションのパスワード設定が必要です。詳しくは、「Step2: ソフトウェアオプションのパスワード設定（グループ B ～ D）」(P.8) を参照してください。

- 2 [有効] を選択して、[決定] を押します。
- 3 [閉じる] を押します。
- 4 [閉じる] を押します。
- 5 再起動を指示する画面が表示された場合は、再起動します。

Step4:Working Folder 複合機連携設置ツールのインストール（グループ A ～ C）

グループCの場合、この手順はシングルサインオン機能を使用する場合だけが必要です。

インストール前の作業

複合機連携機能は、インストール時、またはアンインストール時に、ネットワークに接続されたコンピューターとご使用の機械との間で SSL/TLS プロトコルを使用して HTTP 通信を行います。

SSL/TLS が有効になっていない場合は、CentreWare Internet Services で以下の設定をしてください。

- 1 ネットワークに接続されたコンピューターで、Web ブラウザーを起動します。
- 2 Web ブラウザーのアドレス入力欄にお使いの機械の IP アドレスを入力し、〈Enter〉キーを押します。
CentreWare Internet Services が起動します。

補足

- CentreWare Internet Services への接続時、または操作中にユーザー名とパスワードを求める画面が表示された場合は、機械管理者 ID とパスワードを入力し、[OK] をクリックします。

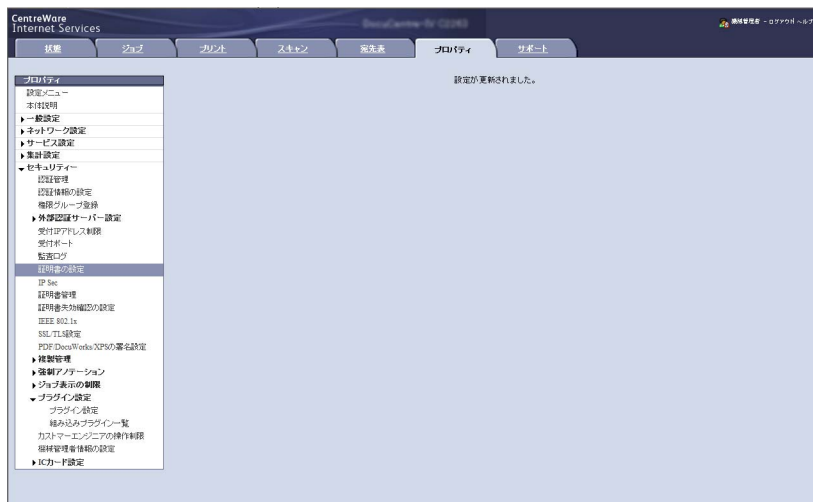
- 3 [プロパティ] タブ > [セキュリティ] > [証明書の設定] で、[自己証明書の作成] をクリックします。



4 「新しい設定を適用」 をクリックします。



5 設定が更新されて次の画面が表示されたら、Web ブラウザーの再読み込みを実行します。



6 「プロパティ」 タブ＞ 「セキュリティ」 ＞ 「SSL/TLS 設定」 で、「HTTP-SSL/TLS 通信」 の「有効」 にチェックマークを付けます。



7 「新しい設定を適用」 をクリックします。

- 8 Web ブラウザーに、機械の再起動を指示するメッセージが表示されたら、[再起動] をクリックします。



- 9 確認画面で [OK] をクリックすると、機械が再起動し、設定した値が反映されます。

インストール

Working Folder 複合機連携設置ツールの動作環境の確認、およびツールのダウンロードは、次に示す弊社公式サイトから行ってください。

<http://www.fujixerox.co.jp/solution/workingfolder/>

注記

- 日本語・英語・韓国語・中国語（繁体）・タイ語以外の Microsoft® Windows® OS 上では、Working Folder 複合機連携設置ツールの動作は保証できません。

補足

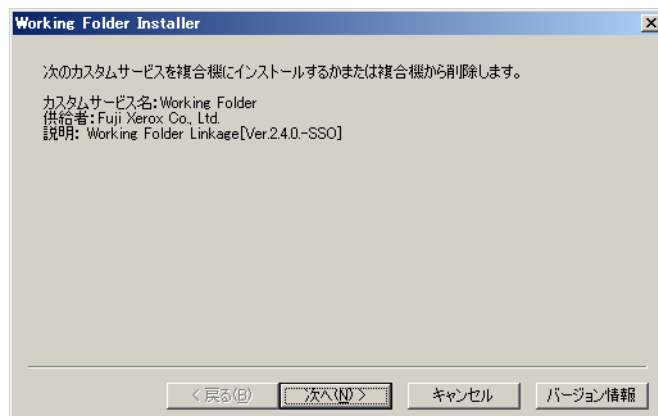
- Working Folder のトップページで、左側の「ダウンロード」から「関連ツール」を選択します。グループ A とグループ B の場合は、「複合機環境設定関連ツール」から「Working Folder 複合機連携設置ツール」を選択してください。グループ C とグループ D の場合は、「複合機環境設定関連ツール」から「Working Folder 複合機連携ツール (シングルサインオン対応版)」を選択してください。
- 機械の操作中およびジョブ実行中はインストールできません。しばらく待ってからインストールしてください。
- Working Folder 複合機連携設置ツールのインストール中は、機械の操作パネルを使用できません。

- 1 お使いのコンピュータで、弊社ダウンロードページから Working Folder 複合機連携設置ツールをダウンロードします。
- 2 ダウンロードした圧縮ファイル (.zip) を解凍し、フォルダー内の exe ファイルをダブルクリックします。

補足

- [セキュリティの警告] 画面が表示された場合は、[実行] をクリックして続行してください。

3 [次へ] をクリックします。

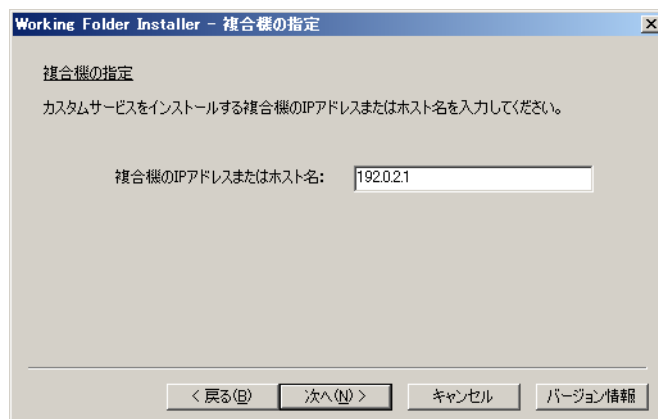


4 Working Folder 複合機連携設置ツールをインストールする機械の IP アドレスを入力し、[次へ] をクリックします。

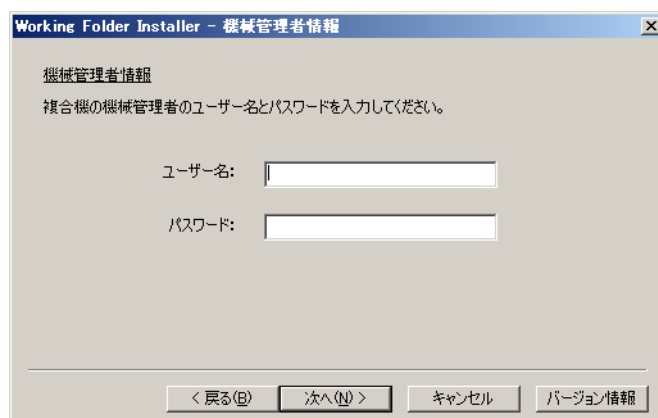
補足

- IPv4 の IP アドレスを入力してください。

例：192.0.2.1



5 機械管理者のユーザー名とパスワードを入力し、[次へ] をクリックします。



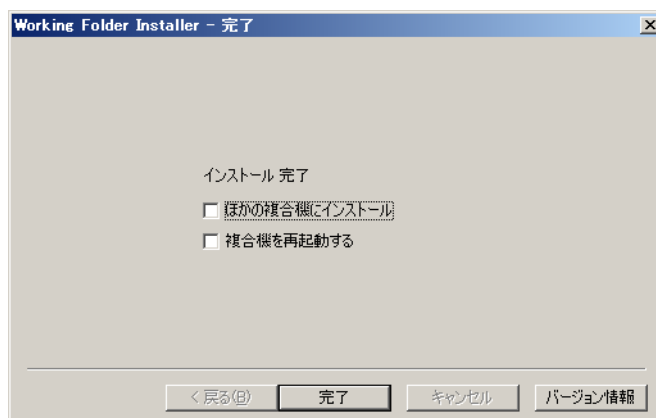
- 6 次の画面が表示された場合は「上書き」を選択し、「次へ」をクリックします。
次の画面が表示されない場合は、手順 7 へ進みます。



- 7 「次へ」をクリックします。



- 8 「完了」をクリックします。



補足

- 完了画面が表示されるまでに、数分かかる場合があります。
- 続けてほかの機械に Working Folder 複合機連携設置ツールをインストールする場合は、「ほかの複合機にインストール」にチェックを付けて「完了」をクリックし、手順 3 ～ 8 を繰り返します。
- 「複合機を再起動する」にチェックマークが付いている場合は、機械が自動で再起動します。

インストール後の作業

「インストール前の作業」(P.13) で [HTTP- SSL/TLS 通信] を有効にした場合は、無効に戻します。

- 1 ネットワークに接続されたコンピュータで、Web ブラウザーを起動します。
- 2 Web ブラウザーのアドレス入力欄にお使いの機械の IP アドレスを入力し、〈Enter〉キーを押します。
CentreWare Internet Services が起動します。

補足

- CentreWare Internet Services への接続時、または操作中にユーザー名とパスワードを求める画面が表示された場合は、機械管理者 ID とパスワードを入力し、[OK] をクリックします。

- 3 [プロパティ] タブ＞ [セキュリティ] ＞ [SSL/TLS 設定] で、[HTTP-SSL/TLS 通信] の [有効] のチェックマークを外します。



- 4 [新しい設定を適用] をクリックします。
- 5 Web ブラウザーに、機械の再起動を指示するメッセージが表示されたら、[再起動] をクリックします。
- 6 確認画面で [OK] をクリックすると、機械が再起動し、設定した値が反映されます。

Step5: 結果の確認 (グループ A ~ E)

機械の操作パネルに [Working Folder] ボタンが表示されることと、Working Folder へのログイン画面が表示されることを確認します。

- 1 機械の操作パネルで 〈メニュー〉 ボタンを押します。
- 2 メニュー画面の [Working Folder] を押します。



補足

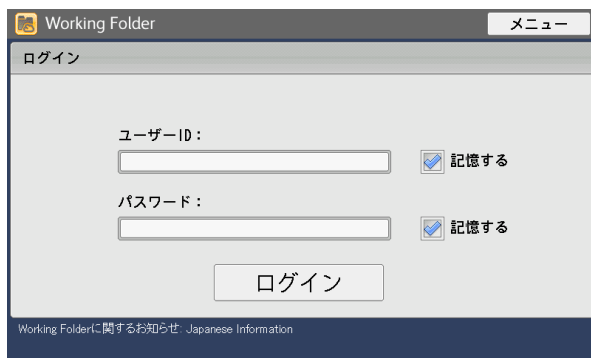
- グループ A ~ D で [Working Folder] が表示されない場合は、「Step3: 仕様設定 (グループ A ~ E)」(P.10) に記載した内容に設定されているか確認してください。
- グループ E で [Working Folder] が表示されない場合は、「グループ E で [Working Folder] が表示されない場合の対処」(P.20) の手順を実施してください。
- 他のカスタムサービスを利用している場合やメニュー画面に表示する機能ボタンの設定を変更している場合、[Working Folder] ボタンが表示されないことがあります。その場合は、[仕様設定] > [共通設定] > [画面 / ボタンの設定] で、[メニュー画面の機能配列] の設定を変更してください。詳しくは、お使いの機械に同梱されている『管理者ガイド』を参照してください。
- 本機の認証方式が [本体認証] または [外部認証] の場合は、認証モードに入ってからボタンを押してください。

- 3 Working Folder のログイン画面が表示されることを確認します。

- 本機の認証方式が [認証しない] の場合



- 本機の認証方式が [本体認証] または [外部認証] の場合



補足

- ログイン画面が表示されない場合は、「Step3: 仕様設定 (グループ A ～ E)」(P.10) に記載した内容に設定されているか確認してください。
- 機械管理者が操作している場合は、[管理メニュー] ボタンが表示されます。また、一度ログインすると、2 回目以降は [履歴リストから選択] ボタンが表示されます。
- [記憶する] が表示されるのは、シングルサインオン機能が有効な場合だけです。

グループ E で [Working Folder] が表示されない場合の対処

- 1 ネットワークに接続されたコンピュータで、Web ブラウザーを起動します。
- 2 Web ブラウザーのアドレス入力欄にお使いの機械の IP アドレスを入力し、〈Enter〉キーを押します。
CentreWare Internet Services が起動します。

補足

- CentreWare Internet Services への接続時、または操作中にユーザー名とパスワードを求める画面が表示された場合は、機械管理者 ID とパスワードを入力し、[OK] をクリックします。
- 3 [プロパティ] タブ > [セキュリティ] > [プラグイン / カスタムサービス設定] > [カスタムサービス] と操作すると表示される画面で、[カスタムサービス] の [有効] にチェックマークを付けます。
 - 4 [新しい設定を適用] をクリックします。
 - 5 [プロパティ] タブ > [セキュリティ] > [プラグイン / カスタムサービス設定] > [組み込みプラグイン機能] と操作すると表示される画面で、[組み込みプラグイン機能] の [有効] にチェックマークを付けます。
 - 6 [新しい設定を適用] をクリックします。
 - 7 機械の再起動を表示するメッセージが表示されたら、[再起動] をクリックします。
 - 8 確認画面で [OK] をクリックします。
機械が再起動します。
 - 9 機械の操作パネルに [Working Folder] が表示されたか確認します。

Step6: シングルサインオン機能の設定（グループ C ～ E）

シングルサインオン機能を有効にするには、次の設定が必要です。

- 機械の認証機能を有効にする
- Working Folder 複合機連携の管理メニューで「認証情報の記憶」を「する」に設定する

Working Folder 複合機連携の管理メニューは、機械管理者権限を持つユーザーだけが操作できます。

認証情報の記憶

Working Folder にログインするときに使用する認証情報を、機械のユーザー情報と関連付けて記憶させます。

認証機能を利用している機械で「認証情報の記憶」を「する」に設定すると、はじめて Working Folder にアクセスしたときに次のログイン画面が表示されます。このログイン画面で、入力したユーザー ID とパスワードを記憶するよう指定できます。

「記憶する」にチェックマークを付けると、入力した認証情報と機械のユーザー情報が関連付けられて記憶されます。これにより、2 回目以降、Working Folder へアクセスしたときに機械のユーザー情報からユーザーが特定され、自動でログインできるようになります。

また、弊社のクラウドサービス「Cloud On-Demand Print」と「スキャン翻訳サービス」を利用している場合、認証情報を相互に利用できます。

参照

- 「Cloud On-Demand Print とスキャン翻訳サービスとの認証情報の相互利用」(P.22)

「ユーザー ID」だけを記憶した場合は、次回アクセス時にユーザー ID を省略してログインできます。「ユーザー ID」と「パスワード」両方を記憶した場合は、次回アクセス時にログイン画面が表示されず、自動的にログインします。なお、「パスワード」だけの記憶はできません。

補足

- 機械管理者権限を持ったユーザーが操作している場合は、2 回目以降も必ずログイン画面が表示されます。ユーザー ID とパスワードを記憶している場合は、入力済みの状態になります。
- ユーザー ID だけを「記憶する」に設定して、2 回目以降のログイン画面でパスワードの認証に失敗すると、記憶したユーザー ID 情報が削除されます。この場合、ログインするには、ユーザー ID とパスワードの両方の入力が必要になります。
- 機械管理者権限を持ったユーザーが操作しているときは、ログイン画面に「管理メニュー」が表示されます。

機械の認証機能を利用しない場合、または管理メニューで「認証情報の記憶」を「しない」に設定した場合は、次のようにログイン画面の「記憶する」チェックボックスが非表示になります。この場合は、すべてのユーザーは Working Folder へのアクセス時にユーザー ID とパスワードの入力が必要になります。



記憶した認証情報は、管理メニューで一括で削除できます。

Cloud On-Demand Print とスキャン翻訳サービスとの認証情報の相互利用

認証機能を利用している機械で「認証情報の記憶」を「する」に設定すると、弊社のクラウドサービス「Cloud On-Demand Print」と「スキャン翻訳サービス」を利用している場合、次のように認証情報を相互に利用できます。

- Cloud On-Demand Print またはスキャン翻訳サービスを利用している機械で「認証情報の記憶」を「する」に設定して認証情報が記憶されていれば、Working Folder に認証情報が記憶されていなくても、Cloud On-Demand Print またはスキャン翻訳サービスの認証情報を利用してログインできます。その逆も可能です。
- Cloud On-Demand Print またはスキャン翻訳サービスで認証情報を記憶した場合、その認証情報を Working Folder も記憶します。
- Working Folder が記憶した認証情報を削除しても、Cloud On-Demand Print またはスキャン翻訳サービスが記憶している認証情報は削除できません。

管理メニューの設定手順

- 1 機械の操作パネルで〈認証〉ボタンを押します。
- 2 〈数字〉ボタン、または表示されるキーボードを使って、機械管理者の User ID を入力し、[確定] を押します。

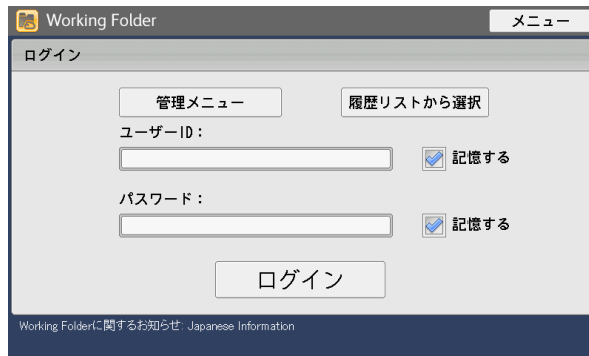


- 3 メニュー画面で、[Working Folder] を押します。

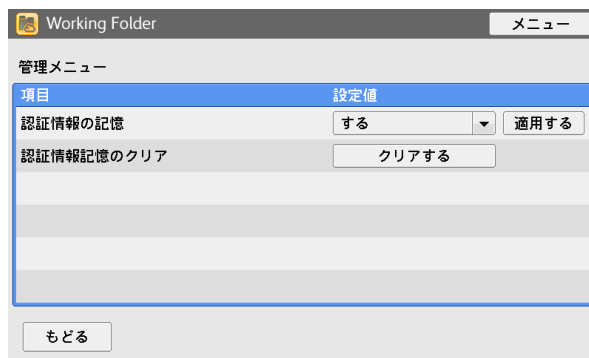


ログイン画面が表示されます。

4 「管理メニュー」を押します。



5 管理メニュー画面で、次を設定します。



■「認証情報の記憶」設定を変更する場合

1) 次のどちらかを選択します。

項目	内容
する（初期状態）	Working Folder のログイン画面に「記憶する」チェックボックスを表示します。ユーザーは、「記憶する」にチェックマークを付けると、次回 Working Folder へのアクセス時にユーザー ID の省略や自動ログインができます。
しない	Working Folder のログイン画面の「記憶する」チェックボックスを非表示にします。すべてのユーザーは、Working Folder へのアクセス時にユーザー ID とパスワードの入力が必要になります。 注記 <ul style="list-style-type: none"> 弊社のクラウドサービス「Cloud On-Demand Print」と「スキャン翻訳サービス」を利用している場合に「しない」を選択すると、それらのサービスとの連携が解除されるので、Cloud On-Demand Print でシングルサインオン機能を有効に設定していても、ログインの操作が必要になることがあります。同様に、スキャン翻訳サービスでシングルサインオン機能を有効に設定していても、ログインの操作が必要になることがあります。

- 2) [適用] を押します。
[しない] から [する] に変更した場合は、シングルサインオン機能が有効になります。
[する] から [しない] に変更した場合は、3)、4) を実行します。
- 3) [設定値の変更確認] 画面で [はい] を押します。
- 4) [認証情報の削除確認] 画面で認証情報を削除するかどうかを選択します。現在記憶している認証情報をすべて削除する場合は [はい] を、削除しない場合は [いいえ] を押します。
シングルサインオン機能が無効になります。

補足

- 認証情報を削除しない場合は、次回 [認証情報の記憶] を [する] に変更したときに、記憶された情報を再び利用できます。

■記憶したすべての認証情報を削除する場合

- 1) [認証情報記憶のクリア] で [クリアする] を押します。
- 2) [認証情報の削除確認] 画面で [はい] を押します。

補足

- 認証情報の記憶をクリアすると、すべてのユーザーは再び [記憶する] にチェックマークを付けるまで、Working Folder へのアクセス時にユーザー ID とパスワードの入力が必要になります。

注記

- 弊社のクラウドサービス「Cloud On-Demand Print」と「スキャン翻訳サービス」を利用している場合、それらのサービスが記憶している認証情報は削除されません。手順 3 で [Cloud On-Demand Print] を選択して、Cloud On-Demand Print が記憶している認証情報を削除してください。同様に手順 3 で [スキャン翻訳サービス] を選択して、スキャン翻訳サービスが記憶している認証情報を削除してください。

- 6 [もどる] を押します。
ログイン画面に戻ります。

アンインストール／バージョンアップ（グループ A ～ C）

Working Folder 複合機連携設置ツールをアンインストール、またはバージョンアップする手順を説明します。

- 1 [HTTP - SSL/TLS 通信] が有効になっていない場合は、CentreWare Internet Services を使用して、有効にします。

補足

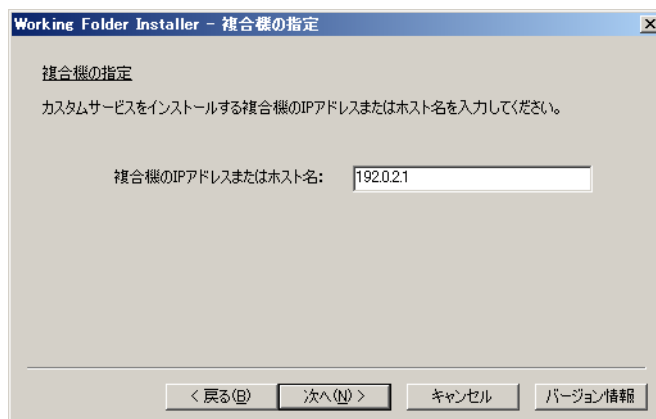
- 設定方法は「インストール前の作業」(P.13) の手順 4 以降を参照してください。

- 2 お使いのコンピューターで、Working Folder 複合機連携設置ツールの exe ファイルをダブルクリックします。
- 3 [次へ] をクリックします。

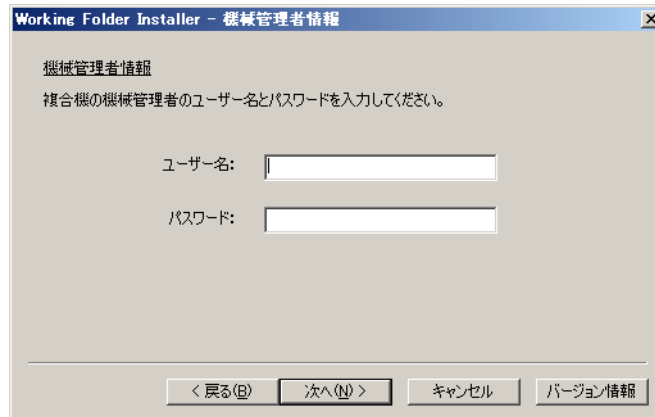


- 4 Working Folder 複合機連携設置ツールをアンインストールまたはバージョンアップする機械の IPv4 の IP アドレスを入力し、[次へ] をクリックします。

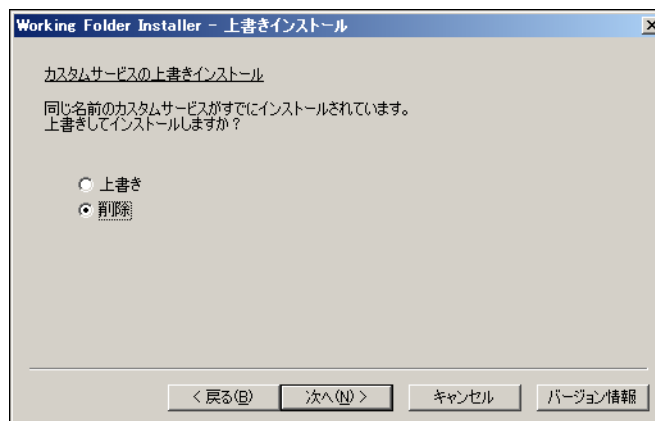
例：192.0.2.1



- 5 機械管理者のユーザー名とパスワードを入力し、[次へ] をクリックします。



- 6 アンインストールする場合は [削除]、バージョンアップする場合は [上書き] を選択し、[次へ] をクリックします。



補足

- [バージョン情報] をクリックすると、Working Folder 複合機連携設置ツールのバージョンが確認できます。なお、Working Folder 複合機連携設置ツールのバージョンは、Working Folder のバージョンとは異なります。

- 7 確認画面が表示されたら、[次へ] をクリックします。
- 8 [完了] をクリックします。
- 9 機械の電源を切って、再度入れます。
- 10 手順 1 で [HTTP- SSL/TLS 通信] を有効にした場合は、CentreWare Internet Services を使用して、無効に戻します。

補足

- 設定方法は「インストール後の作業」(P.18) を参照してください。
- アンインストール前から [HTTP- SSL/TLS 通信] が有効に設定されている場合、この操作は必要ありません。

サポート情報、最新情報の入手先

弊社公式サイトで商品情報を提供しています。

<http://www.fujixerox.co.jp/solution/workingfolder/>

Working Folder 複合機連携 セットアップガイド

著作者－富士ゼロックス株式会社

発行年月－2016 年 9 月 第 1 版

発行者－富士ゼロックス株式会社

(帳票番号:ME7886J1-1)